

堺市民 1000 人委員会から学ぶ

14 日午後、おおさかコモンズの連続講座に参加した。堺の「市民 1000 人委員会」事務局長の前田純一さんの話を聴きたかったからだ。

「市政を刷新し清潔な堺市政を取り戻す」市民 1000 人委員会は、2019 年 5 月 6 日にスタートした。竹山修身前堺市長の辞職に伴う市長選告示の 20 日前だ。前堺市議の野村友昭さんが立候補したが、僅差で敗れた。維新の永藤英機氏が市長となり、選挙後も市政チェック学習会を開催し、『市政レポート』を発行してきた。2020 年 10 月には、毎土日の 8 回、大阪市廃止住民投票・西成路地裏対話行動に、のべ 203 人のメンバーが 547 回参加した。維新の大阪市廃止の動きに、堺市民として危機感を抱いたからだ。

2021 年 1 月、堺東駅前に「市民共同オフィス」を開設した。ここを拠点に、コロナ感染対策、財政危機宣言、おでかけ応援制度などの問題について、永藤市政への批判と提案を繰り返してきた。2022 年 11 月「市民にやさしい堺ビジョン」熟議討論会を開催し、写真の市政レポート第 11 号に Ver.1 を収録した。討議

を重ね、さらにバージョンアップを続けていくとしている。基本姿勢は堅牢な公共=パブリックの再生、北大阪偏重に抗して南大阪の拠点としての堺市の再生。思い付きのトップダウンでなく、現場との対話によるボトムアップの市政。緊縮財政でなく、市民生活・中小零細事業所サポートのための積極財政。万博・カジノ・インバウンド頼みでなく、将来を見据えた子育て積極支援。大阪府言いなりでなく、堺市民が主人公の市政。



ビジョンの各分野—1 自治のまち 2 子育て・教育 3 コロナ感染症対策
4 住宅 5 公共交通 6 共生社会 7 医療・介護と高齢者 8 気候変動対策
9 住民にやさしい街づくり 10 図書館・博物館・文化施設・公民館・児童館
11 商業・工業・農業 12 歴史・文化

じつは私も市民 1000 人委員会の「賛同人」である。大学院時代に堺・泉北コンビナート調査や財政分析をしたこともあり、堺には愛着があった。維新の動きが気になり、スタートのつどいに参加した。超満員の会場で、熱気あふれる報告・発言に耳を傾けた。その後も、郵送してもらった「市政レポート」を読み、草の根の取り組みから多くのことを学んできた。今回、前田さんから話をお聴きして、1000 人委員会についての理解が深まった。前田さんのような事務局長の存在、多くのスタッフ、市民のみなさんの奮闘努力を痛感した。次の堺市長選で維新市政からの転換を期待したい。

大阪の市民団体も、党派を超えて市政を取り戻す活動が続ける堺 1000 人委員会から学ぶことは多い。予定を変更して、おおさかコモンズの連続講座に参加して良かった。

(2023 年 1 月 15 日)